

医院だより

令和 8 年 10 月 (279)

秋 山 医 院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315

神無月 (かんなづき)

別名 神去月(かみきりづき)・神在月(かみあ
りづき)・時雨月(しぐれづき)・初霜月(はつしもづ
き)

陰暦十月の称。すでに「古今集」にこの文字が
見え、さまざまな説があるが、一般にはこの
月、諸国の神々が出雲につどい集まるため、と
される。したがって出雲では神在月となるが、
もとより俗説。『徒然草』のいうように、本説
なし、と考えるよりほかはないが、起源の詮索
は別として、陽暦なら十一月半ばにあたるこ
の季節の自然相には、何やら実感を伴ってこ
ころにひびく語感があるう。昨今、信仰とはか
かわりなく、意外に新しい作例の多いのはその
ためであろうか。

神無月ふくら雀ぞまづ寒き 其角

(講談社「カラー図説日本大歳時記」)

金木屋(キンモクセイ)



目次(頁)

- 1 十月の異称、十月の花、十月の言葉
 - 2 十月の暦、お知らせ、診療案内、
健康テレフォン、
 - 3 大岡 信選集、
 - けんこう改め群馬県感染症発生動向
 - 4 ひとくちメモ(8)胸痛について
 - 5 院長のひとりごと(247)
- お弁当

『十月の花』

野紺菊(のこんぎく)、野原薊(あざみ)、富士
薊(ふじあざみ)、杜鵑(ほととぎす)、藪蘭(や
ぶらん)、鶏頭(けいとう)、金木屋(きんもくせ
い)、コスモス

『十月の言葉』

目をまつすぐ前に注げ。あなたに対してしているものに
まなざしを正しく向けよ。どう足を進めるかをよ
く計るならあなたの道は常に確かなものとなる
う。右にも左にも偏ってはならない。悪から足を避
けよ。(箴言 第四章二五〜二七節)

進め、どこまでも進め、前途を疑懼(ぎく)せず
に進め。倒れても退いてはならない。明日は今日
よりも完全であれ。明年は今年よりもさらに一層
勇壮で、快活で、謙遜で、独立であれ。進化の宇宙
に存在して退く者は死ぬ者である。安全は退いて

求めるべきものではなく、進んで達すべきものである。歓喜(よろこび)と満足とは前にあって後ろにはない。臆病者に平和はない。進め、どこまでも進め。

内村鑑三「一日一生」10・23

「十月の暦」

一日 労働衛生週間、法の日、
四日 里親デー、亥の子餅(平安時代の
宮中儀式「亥の子祝(いのこのいわい)…
イノシシは多産であるところから
「子孫繁栄」の意味が込められている。)

五日 達磨忌
八日 寒露
十日 目の愛護デー
十二日 スポーツの日、芭蕉忌
十三日 日蓮上人忌、
嵐雪忌(芭蕉の高弟)
十八日 統計の日、靖国神社秋祭
二十三日 十三夜
霜降 秋気ようやく去って、各地で朝
露を見始めるころ

二十四日 国連の日
二十七日 読書週間

お知らせ

一、マイナンバーカード、資格証明書(お持ちの資格確認書の券面に有効期限が記載されているため、必ずご自身のカードや書類をご確認ください)で受付を行っています。

二、診療案内

『午後診療』では通常の診療のほか、
『予約診療』もできますので時間調整が必要
な方はご利用ください。
予約は電話でもできます。

『診療内容』

- 一般外来診療
- 往診・在宅医療(ご相談ください)
- ピロリ菌の診断・除菌
- CT、MRI、PETの予約
- 胃・大腸内視鏡
- インフルエンザ・新型コロナウイルス・肺炎球菌・
带状疱疹ワクチンなど

* 十月一日からインフルエンザ・新型コロナウイルス
ワクチン接種が始まっています。
新型コロナウイルスは予約が必要です。



月	月経痛と出血量
火	骨粗鬆症の薬と歯科治療
水	糖尿病はこわい病気か？
木	上手な歯磨き剤の使い方
金	乳がん対策 自分で出来ること知っておくこと
土日	子供の発熱

三、群馬県保険医協会二十四時間健康テレホン
<http://www.raijin.com/kenko/>
 電話 〇二七―二三四―四九七〇

大岡 信著『折々のうた』

敢(あ)へて 紅塵(こうじん)に

衣帯(いたい)漉(け)がれず

猶期す 青史に姓名垂るるを

正岡子規

「子規全集」所収。子規は外祖父大原観山に漢学を学び、十二才から漢詩を作った。右は明治二十三年正月(二十二歳)作。前年五月突如咯血した心細さを詩の冒頭で『生命を繋ぎ将(もち)て細きこと糸のごとし 咯血三旬子規と号す』と詠み、「紅塵(俗塵)に身を汚さず 青史(歴史)に名を残すことを期す」と、一見明治書生の大言壮語風だが、真意は病に直面して新年の決意を述べたもの。

モンシロチョウ、蛹になりました



いにしへも斯かりき心 いたむとき

大白鳥となりて空行く

与謝野 寛

「相聞(あいきこえ)」(明治四三)所収。明治三十五年、以降八年間の短詩(寛は当時短歌をこう呼んでいた)約一千を抜いて編んだのが「相聞」で、明星派後期最重要の歌集。森鷗外が心のこもった序文を寄せている。寛の評価は妻晶子の名声に対し不当に割り引かれているが、詩人としての気宇は同時代に抜きこんでいた。これは、古代の英雄倭建命の魂魄が大白鳥に化し、空高く飛び去ったという伝説に心を託した朗々たる悲傷の歌。

西御荷鉾山



けんこう改め

群馬県感染症発生動向(201)

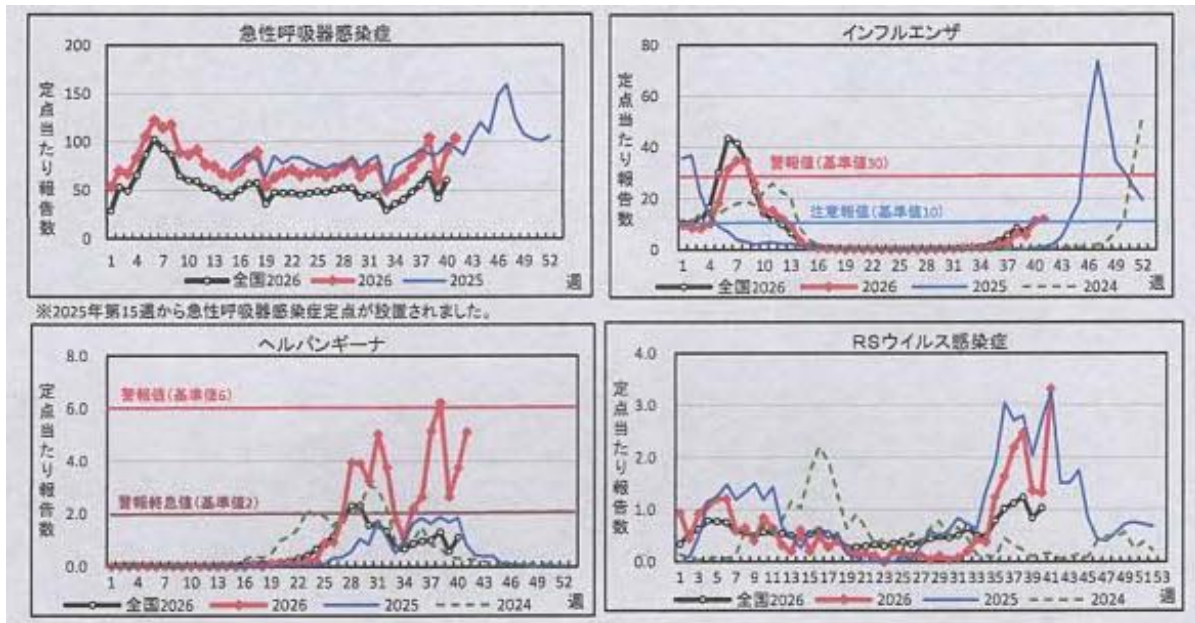
★インフルエンザは、先週に引き続き注意報発令中です。RSウイルス感染症の報告も続いています。これらの感染症はいずれも飛沫感染や接触感染によつてうつります。

咳やくしゃみが出るときは、

「マスクをつける」「鼻と口をティッシュペーパーで覆う」「袖や上着の内側で覆う」などの咳エチケットを心がけましょう。手洗い、換気も感染対策として重要です。

★ヘルパンギーナは警報発令中です。原因となるウイルスの中にはアルコール消毒がききにくいものがあるので、手指は石鹸と流水でよく洗いましょう。症状がある人は自宅でタオルなどを共用しないようにしましょう。





ひとくちメモ(8)

胸痛などで緊急対応が必要になることがあります。これらの対応につき、普段から整理しておいたほうが良い項目が挙げられていましたので参考にしてください。(NHK きょうの健康)

1 胸痛が起きたら

- ① 直ぐに座るか横になる
- ② 119番に電話する
- ③ アスピリンを噛んで飲む
(アレルギーに注意)

- ④ 深くゆっくり呼吸する
- ⑤ 家族や近隣の人に連絡
- ⑥ 絶対に車の運転しない
- ⑦ 意識を失わないようにする

2 日常からの備え

- ① スマートフォンにメディカル情報を登録
- ② 冷蔵庫や玄関に連絡先のメモ
- ③ 玄関の暗証番号や合鍵の場所を家族と共有
- ④ アスピリンや普段の薬をケースに入れて持ち歩く
- ⑤ 近所の人と万が一の時の連絡体制を作っておくこと
- ⑥ 知識を行動に移すこと
(例 胸痛↓119番↓病院へ行く)
- ⑦ 普段の服薬名、持病、アレルギー
- ⑧ 犬猫などのペットを家(小屋)の中に
- ⑨ 意識を失わないように

院長のひとりごと(247)

お弁当

◆同郷の友人から、朝一番のメールが届いた。小学一年生からの男子の友人Aが亡くなったと、生まれた村に嫁いだ妹さんから、そう連絡があったという。このAの報を受け取った時、ああとうとう亡くなってしまったかという気持ちと、何か二人の間にやり遺したものがあつたような気がしてそれが何だったかと気になった。

◇小学校に入ったばかりの時はわからなかったが、しばらくして午後の授業もあるころになり、昼休みになると、Aのところへ受け持ちのT先生が行って廊下でお金を持たせ、近くの店でパンを買ってくださると言われているのをみんなで見ていると、先生が「A君はお母さんが亡くなったためにお父さんと3歳年上の兄さんとの3人暮らしで、お父さんは朝早くから仕事に出かけなくてはならないので、みんなのようにお弁当を持ってこれないのだよ」と説明してくれた。

◆裕福でないまでも、母親が送り迎えしてくれている家がほとんどであったので、A君の大変さはわからずに

「パンを買ってもらえていいなあ」と口にする子もいたほどだった。私にもそんな気持ちがあり、母親に話すと厳しい顔できつくなめられ、そのような考えをすることがいかに悪いことかと教えられた。この時の母親の顔は忘れられないほど怖かった。

シュウメイギク



◇中学校を卒業してからA君がどこに就職したかは知らなかったが、同級会や成人

式で会うと「のりお、のりお」と名前を呼んで「いまどこにいる？なにしてる？」などと話しかけてきてくれたものであった。隣り町で働いているようだったが、詳しくは知らなかった。

◆五十歳の頃、同級会で集まったことがあった。T先生も、他のクラスの先生も出席してくれていた。A君がその時いたかどうかは想い出せない。T先生と隣り合わせになった時に、先生が本当にうれしそうに話された。

『A君が、今度二人で蕎麦屋さんを始めたんだよ』

と。NHK大河ドラマ「天地人」放映間もないころのこと、これに関する武将の名を店の名前に使っていた。

『私も(奥様と)二人で出かけるようにしているんだよ』

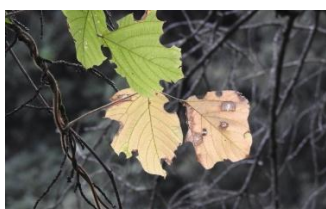
と話してくださり、私にも帰省した時に行ってみてくれと言われたのでした。

◇帰省した折に、3回くらい行っただろうか？そのうちの1回は家内と二人で訪ねたときのことだったが、昼の時間が過ぎて休みの時間だったらしく、A君が一人いるだけだった。

「大丈夫だ、今すぐ作ってやるから」と特別に二人のために用意してくれた。

準備の時も、江戸時代の藩政改革で有名になり、アメリカ35代大統領ジョン・F・ケネディが尊敬したという米沢藩主上杉鷹山がウコギ(五加木)という木の栽培の推奨したというが、そのウコギの葉の線維でつないだのがこの蕎麦だと嬉しそうに説明してくれたのです。

私は、T先生にも喜んでもらいたくてその話を便りに書いたものでした。



◆私の姉は、A君と仕事を始めた十一歳年上の方と同級生であったということで、その方からからも姉に蕎麦屋を始めたということと、一緒にやるのが偶然にも「あなたの弟の同級生のA君」だということと話してくれたことがあったという。ところが残念なことに店も有名になってきたころ女性と失踪してしまったと

いう話を、姉から聞く事になってしまいました。

◇喜寿のお祝いを同級生が集まってやった時にはA君の姿はなかったように思います。その後『A君』と親しかった人にA君の消息を尋ねると、元気だよ、という返事でしたので安心しました。

◆今年の八月にお盆で墓参りに行ったとき、A君が『施設に入った』とA君が私と同級生だと知っている人が教えてくれました。

それから二か月、今度はそのA君の『訃報』を受けることになってしまったのです。

◇T先生も亡くなられて二十年以上たち、先生の奥様も二、三年前に亡くなられました。

◆幼い時に母親を失ったことがA君の人生のつらさを決定づけてしまったことは間違いないが、3歳上のお兄さんがおられたはずで、お兄さんの消息も知りたい気がします。どんな生涯を送っておられたことだろうか。

◇A君の訃報を聞いて1週間もしたところ、私は不安に襲われた。

私たちの村に赴任して来られたT先生にとって、A君との出会いは大きな挑戦だったに違いない。先生は、出会ったとき

から何かこの薄幸の子を見守って元気に明るく世の中に送り出してあげたい、いい生涯を送らせてあげたい、と決心されたのに違いない、と思われるのです。ご自分の最後の日まで思い続けおられたに違いない。

◆先生のお姿を70年間も見ていて、このような生涯を見せてくれた人をわたしは知らないのです。

◇現在の私の年齢の頃に、脾癌が見つかりお住まいに近い病院に入院したと聞いてお見舞い上がった時、6人部屋の入り口から右側の最初のベッドで、奥様と悄然とされていた。奥様が、痛みのことだか、ベッドの位置のことかで一回お願いした後からは、受け持ち医は部屋に来て顔も見ずベッドひとつ飛ばして次のひとから声をかけて一回りして出て行ってしまふのだというのである。ありえないことではないか、と啞然として、また同じ医師として恥ずかしく、申し訳なく、憤りに震えました。

◆近くで同級生が院長をやっている病院があるのですそこにお話してみましようかとお訪ねすると、

「もう、いいよ…」と遮られた。笑顔はなかった。医者である私は恥ずかしかった。私も同じ医者なのであった。

◇先生のお勧めで、A君の蕎麦屋さんに行ってきたよ、なぞという私のはがきをご覧になられた時、先生は心からがっかりされたに違いないと今になり気が付いた。「蕎麦の味の評価」などではなかったのでは：それよりは、

「ずっとA君のよい話し相手になっていてほしい」

そのことを伝えたかったのではなかったか、と気が付いたので。先生は出会いから別れの時まで、ずっとA君の中に「現しがたい孤独」を見ていたのではなかったのか、と思うのです。

今となつては、先生も、A君も居なくなつてしまった。

わたしは、名前を呼びながら話しかけてくれる友人と、七十年余、「○○○くん」と呼び掛けてくれた恩師の声を心に聞きながら、この世で果たせなかった恩返しの幾億分の一でもこの世で果たすことに余生を用いよう、と思つて居ます。

